

TOSHIBA

Carrier

外気処理エアコン 取扱説明書

天井埋込ダクト形

形名

室内ユニット

RDA-AP2242UHF

RDA-AP2802UHF

RDA-AP2242UHNF

RDA-AP2802UHNF

日本国内専用

Use only in Japan

もくじ

安全上のご注意.....	1
製品仕様	4
始動および停止	5
リモコン(別売品)操作方法	6
運転のしかた	8
タイマー運転のしかた	9
故障診断	10
お手入れのしかた	11
保証とアフターサービス	13
保守点検契約について	14
定期点検/簡易点検のお願い	14

＜フロン排出抑制法によるフロン類充填量の確認のお願い＞

- この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
この製品を廃棄・整備する場合は、フロン排出抑制法に基づくフロンの回収、運搬、破壊費用が必要です。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その地球温暖化係数は、「仕様」の項目に記載しています。
その二酸化炭素換算値は、接続されている室外ユニットや接続室内台数、接続配管長さにより異なります。
システム全体でのフロン類に関する数値は、室外ユニットに表示されています。



＜フロン類漏えい点検実施のお願い＞

本製品を所有されているお客様は、フロン類排出抑制法に基づく点検を実施してください。

“点検記録簿”には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用点検等に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ






<http://www.jarac.or.jp/>

- このたびは外気処理エアコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書と室外ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず本書をお渡しください。また、お使いになる方が変わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ずお受け取って保存してください。保証書を必ずお受け取りください。

安全上のご注意








1. ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

記号の意味







	警告	取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。
	注意	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。
		危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
		禁止の行為であることを告げるものです。
		行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。










＜ I. 使用上の注意事項 ＞

 警告	
電気部品箱のフタを開けないでください。 感電の原因になります。	
長期使用で据付台等が痛んでないか注意してください。痛んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。	
パネルを開いたまま運転しないでください。 やけどやケガの恐れがあります。	
空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒を入れないでください。内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。	
電源スイッチやブレーカー等の入り切りによりユニットの運転・停止をしないでください。感電や火災の原因になります。	
故障や破損をしたまま運転しないでください。重大な事故につながる恐れがあります。修理に不備があると感電・火災等の原因になります。	

⚠警告	
ユニットを改造しないでください。 感電・火災等の原因になります。	
濡れた手でスイッチを操作しないでください。 感電の原因となることがあります。	
ユニットを水洗いしないでください。 感電の原因になることがあります。	
ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。	
モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。 故障や感電の原因になることがあります。	
ユニットのキャビネットや電装箱の蓋を外したままの運転は行なわないでください。充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。不当に変更すると、火災等の原因になることがあります。	
長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。 体調悪化・健康障害の原因となります。	
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。 換気が不十分な場合は、酸欠の原因になることがあります。	
エアコンの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。 燃焼器具の不完全燃焼による事故の原因となることがあります。	
フロン類をみだりに大気中に放出することはしない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。	
異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。	
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブ等の火気を消し、床面を掃くように換気し、お買い上げの販売店・専門業者または、弊社支社店に連絡してください。不燃性・非害性・無臭性の安全冷媒を使用していますが、火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。	
⚠注意	
食品・動植物・精密機械・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。 品質低下等の原因となることがあります。	
空気熱交換器のアルミフィンには触れないでください。触れると、ケガの原因になることがあります。	
ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。	

⚠注意	
正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。 針金や銅線を使用すると火災の原因となります。	
圧縮機や冷媒配管等の高温部には触れないでください。 高温部に触れると、やけどの恐れがあります。	
可燃性スプレーをユニットの近くに置いたり、ユニットに直接吹きかけたりしないでください。発火の原因となることがあります。	
掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。 内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。	
動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。	
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、全て開閉状態を確認してください。特に、保安上のバルブ（安全弁等）は運転中必ず開いてください。 開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になることがあります。	

<< II. 移設・修理時の注意事項 >>

⚠警告	
<p> 室外ユニットへの冷媒回収は絶対にしないでください。移設や修理時の冷媒回収は必ず冷媒回収機で行なってください。室外ユニットへの回収はできません。 室外ユニットへの冷媒回収を行なうと、破裂・けがなどの重大な事故の原因となります。 </p>	
<p> 冷媒や冷凍機油の種類を間違えないでください。 火災・爆発の原因となることがあります。 </p>	
<p> 屋内で修理される場合は、換気に注意してください。換気が不十分な場合、万一冷媒が漏洩すると酸欠事故につながる原因となることがあります。 </p>	
<p> 改造は絶対に行なわないでください。 感電、火災等の原因になります。 </p>	
<p> 保護装置を短絡して、強制的な運転を行なわないでください。 火災や爆発の原因となることがあります。 </p>	
<p> 保護装置の設定は変更しないでください。 火災等の原因となることがあります。 </p>	
<p> 冷媒の溶栓をハンダ付けしないでください。 規定外の溶栓を使用されますと、爆発の原因となることがあります。 </p>	
<p> ユニットを移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。据え付けに不備があると、感電、火災の原因になります。 </p>	
<p> 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、感電、火災等の原因になります。 </p>	

製品仕様

室内ユニットと室外ユニットの組合せご確認

室内ユニットと室外ユニットの組合せは下表に示す通りですのでご確認ください。

■ 室内ユニットと室外ユニットの組合せ表

表－１ 製品組合せ表

室内ユニット RDA-AP	室外ユニット ROP-AP
2242UHF, 2242UHNF	2245HT-1 または 2246HS または 2247S (※)
2802UHF, 2802UHNF	2805HT-1 または 2806HS または 2807S (※)

(※) ROP-AP2247S, AP2807Sは、冷房専用です。

表－２ 製品仕様表

機種	RDA-AP	2242UHF	2802UHF	2242UHNF	2802UHNF
組合せ室外 ユニット	ROP-AP	2245HT-1 または 2246HS または 2247S	2805HT-1 または 2806HS または 2807S	2245HT-1 または 2246HS または 2247S	2805HT-1 または 2806HS または 2807S
種類	形態：天井埋込ダクト形 機能：冷房・暖房兼用または冷房専用 ユニット構成：分離形				
電源	200V三相50/60Hz				
運転質量 (kg)		125	125	105	105
外形寸法 H×W×D(mm)	490×1120×1150				
冷媒	R410A				
送風機	シロッコファン(ベルト駆動)			シロッコファン(インバータ駆動)	
二酸化炭素換算値(トン) ※	ROP-AP2245HT-1/2805HT-1	13.7	13.7	13.7	13.7
	ROP-AP2246HS/2806HS, AP2247S/2807S	12.4	12.4	12.4	12.4
冷房能力 (kW)		22.4	28.0	22.4	28.0
暖房能力 (kW)		18.5	21.3	18.5	21.3
風量(m ³ /min)	最小	22	25	22	25
	定格	28	35	28	35
	最大	31	39	31	39
騒音値(dB(A))	定格騒音(音響パワーレベル) *	67/69	69/71	66/66	68/68
	運転音(音圧レベル)	47/49	48/50	46/46	47/47
標準ファンモータ出力 (kW)		0.75	0.75	0.75	0.75
加湿量 (kg/h)		8.9	11.1	8.9	11.1
冷媒配管接続	ろう付接続				
ガス側接続径 (mm)	φ25.4				
液側接続径 (mm)		φ9.5(注2)	φ12.7	φ9.5(注2)	φ12.7
ドレン配管接続口	PT25Aオネジ				
加湿器給水接続口(注1)	PT15Aオネジ				
加湿器給水圧力	0.05 ～ 0.5MPa				
加湿器給水使用水	水道法水質基準に準ずる飲料水 (5 ～ 40℃)				

*印はJRA4002：2013R

※ 組合せ室外ユニットにより値は異なります。

(注1) 付属ストレーナ (T型 #100 PT15A オネジ) の口径を示します。

(注2) 液側接続径φ9.5mmは、φ12.7mmでも可。

地球温暖化係数(GWP) R410A:2090

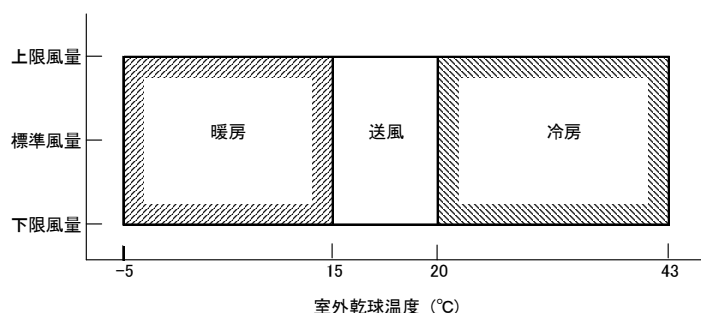
ユニット使用範囲

冷房運転使用範囲

室 外 乾 球 温 度	20～43℃ DB(32℃CWB 以下)
相 対 湿 度	30～90% RH

暖房運転使用範囲

室 外 乾 球 温 度	-5～15℃ DB
相 対 湿 度	20～90% RH



始動および停止

電源スイッチやブレーカの入り切りによりユニットの運転・停止をしないでください。

(1) 日常の運転管理

- ① 日常的な運転停止は、リモコンの操作で行なってください。
- ② 決してユニットの元電源は切らないでください。ケースヒータの通電を続けるためです。
- ③ 加湿（暖房）シーズン後は、加湿器給水サービス弁（現地手配）を閉め、加湿器内の水抜きを行なってください。また加湿（暖房）シーズン開始時には、加湿器本体の点検および給水配管内の水を新しい水に置き換えてください。加湿（暖房）シーズン中は常に給水サービス弁を開けておいてください。
- ④ 加湿（暖房）シーズン時、一昼夜以上にわたって運転を停止する場合には、衛生面の配慮から加湿器の運転を停止して1時間程度の空調機アフターラン（送風運転）を行ない、加湿モジュールを乾燥させてください。

(2) 長期間の運転停止

長期間運転を停止する場合、次の手順に従ってください。

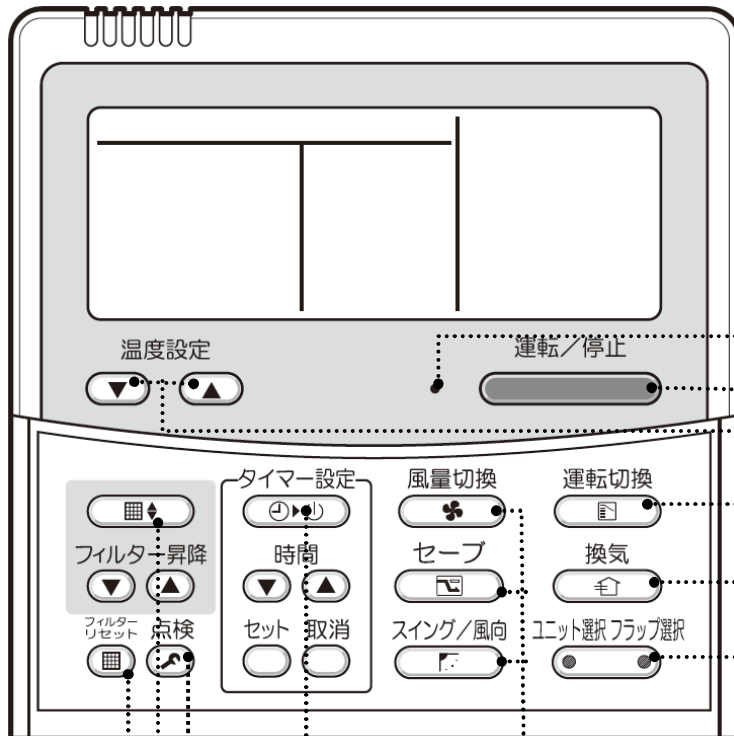
- ① まず、リモコンでユニットを停止させてください。
- ② 加湿器の給水サービス弁（現地手配）を閉めてください。
- ③ 加湿器内の水抜きを行なってください。
- ④ ユニットの電源スイッチを切ってください。

(3) ユニット運転上の注意

ユニット運転にあたって、少なくとも12時間前にユニットに電源を入れて、ケースヒータによる冷凍機油の加熱を行なってください。冷凍機油の加熱を怠ると、ユニット始動時にオイルのフォーミング現象を起こし、圧縮機の損傷につながります。始動運転時には最低12時間前にユニットに電源を入れておくことと、日常的な運転停止時にはユニット電源は切らずにおき、“運転/停止”ボタンにて行なうことが必要です。また、加湿（暖房）運転中は、加湿器本体よりドレン水が排出されますが異常ではありません。

リモコン(別売品)操作方法

操作部 ●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



運転ランプ

運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転／停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン

設定温度を調整します。
▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。

運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

換気ボタン

本ユニットでは使用しません。

ユニット選択ボタン

ユニットを選択するときに使用します。

風量切換ボタン

本ユニットでは使用しません。

セーブボタン

セーブ運転を行う時に使用します。

スイング／風向ボタン

本ユニットでは使用しません。

フィルターリセットボタン

「フィルター」表示をリセット（消灯）します。エアフィルターの掃除が終わりましたら、このボタンを押してください。

フィルター昇降ボタン

本ユニットでは使用しません。

点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。

表示部 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

●漏電ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に **設定中** が点滅します。

この表示中は自動機種確認中ですので **設定中** が消えた後リモコン操作を行ってください。

運転切換表示

お好みの運転モードを表示します。

設定中表示

タイマー設定中等に表示します。

タイマー時間表示

タイマーの時間を表示します。
(異常時には点検コードを表示します)

点検表示

保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

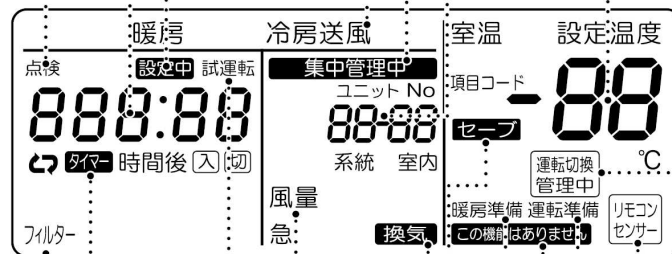
集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき **集中管理中** が点滅し、変更を受け付けません。(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコンの取扱説明書をご確認ください)

ユニット No 表示

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニット No を表示します。

設定温度表示

選択した設定温度を表示します。



運転切換管理中表示

エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

リモコンセンサー表示

リモコンセンサー使用時に表示します。

フィルター表示

この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

タイマー設定表示

タイマー設定ボタンを押すと、
[切] 切タイマー → [↺] [切] 繰り返し切タイマー → [入] 入タイマー → 表示なし
の順に切り換わります。

試運転表示

試運転中に表示します。

運転準備表示

機種によって表示する場合があります。

機能なし表示

ボタンを押しても機能がないときに表示します。

暖房準備表示

暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

セーブ運転表示

セーブ運転中に表示します。
※ SMMS との組み合わせ時は使用できません。

換気運転表示

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

風量表示

●床置形 (直吹タイプ、ダクトタイプ) は風量 急のみ表示します。

運転のしかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から運転／停止ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

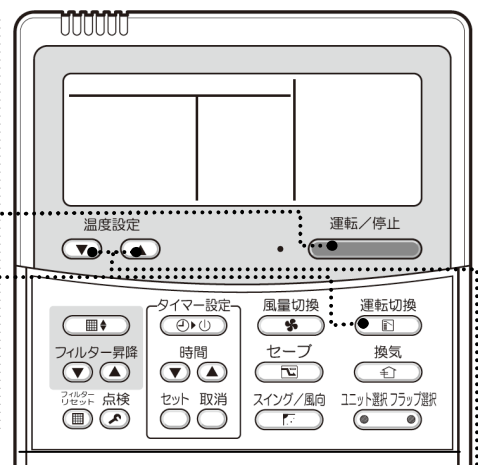
漏電ブレーカーを入れる

- ・電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

お願い

- ・使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- ・長期間停止後／運転開始をするときは、**12時間以上前に漏電ブレーカーを入れてください。**

- 運転／停止** を押して運転する
●運転ランプが点灯します。
- 運転切換** を押して「運転の種類」を選ぶ
●ボタンを押すたびに運転表示が変わります。
→ 冷暖自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風
●組合せ室外ユニットにより表示が変わります。
●本ユニットには「ドライ」機能はありません。
- 運転／停止** を押して運転を止める
●運転ランプが消えます。



温度を変えるとき

- 温度設定** を押して選ぶ
- **▲** を押すと温度があがり、**▼** を押すと温度が下がります。(送風時は温度の設定ができません。)

- 温度センサーが感知する温度は、室内ユニットの吹出口付近の温度ですので、室温とは異なります。設定温度は目安としてください。
- 暖房運転の場合は、停止後 30 秒ほど送風運転を続ける場合があります。

タイマー運転のしかた

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー

繰り返し切タイマー

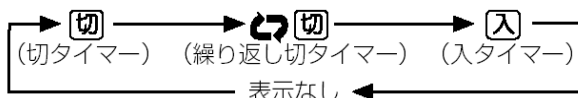
入タイマー

設定時間になると運転を停止します。 毎回、設定時間後運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1 タイマー設定を押す

- ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。



- 設定中と時間表示が点滅します。

2 時間を押して「設定時間」を選ぶ

- を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。

リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(*1)までは設定時間の数字です。

24時間以上(*2)は日数と時間で表示します。

- を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します。

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(*1)

設定中
23.5

- 34Hの場合(*2)

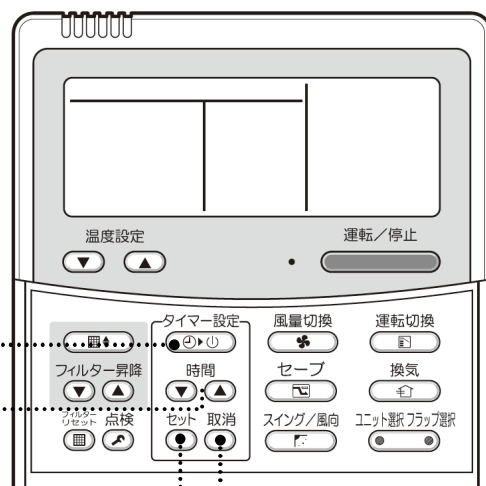
設定中
1d 10h
日数 時間

1dは1日(24時間)を表わします。

10hは10時間を表わします。
(合計 34 時間)

3 セットを押す

- 設定中が消えて時間表示が点灯し、
☑または☒が点滅します。
(入タイマーのときは時間表示、タイマー
時間後☑以外の表示が消灯します。)



お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再び運転/停止を押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。

タイマー運転取り消しのしかた

取消を押す

- タイマー表示が消えます。

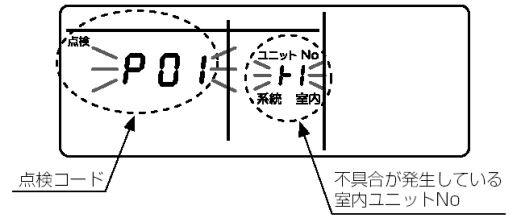
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが表示されます。

点検コードは、運転中にのみ表示されます。

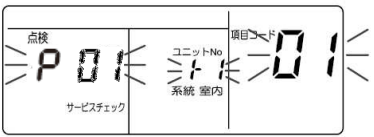
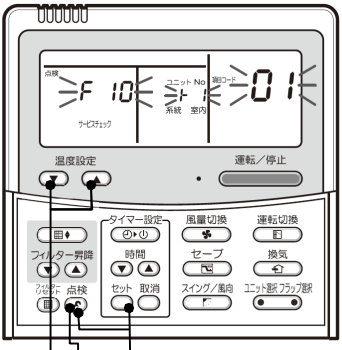
表示が消えてしまった場合は、下記の『故障履歴の確認』に従って操作し確認してください。



故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。（故障履歴は4つまでメモリされます。）

運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

手順	操作内容
①	<p>「セット」＋「点検」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように表示されます。表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目コードに、「01：故障履歴の順番」が表示されます。 ・点検に「点検コード」が表示されます。 ・室内ユニットNoに「不具合が発生した室内ユニットアドレス」が表示されます。 
②	<p>温度設定の「▼／▲」ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。</p> <p>項目コードは、項目コード〔01〕（最新）…→項目コード〔04〕（一番古い）を示します。</p> <p>お願い</p> <p>「取消」ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。</p> 
③	<p>確認できたら「点検」ボタンを押して通常表示に戻ります。</p> <p>②③ ①</p>

お手入れのしかた

エアフィルター（現地手配）

エアフィルターは定期的に清掃あるいは交換を行なってください。フィルターの目詰まりは風量を低下させ、場合によっては圧縮機等の故障の原因となります。

《フィルターの清掃方法》フィルターは洗剤水溶液ですすぎ洗いをするか、掃除機を使用して汚れを吸い取ってください。

ベアリング（RDA-AP****UHF 型）

15,000時間程度ごとを目安に点検し、必要であれば給油してください。但し、使用条件によって給油する頻度は変わります。また、回転音に異常がある場合は交換してください。給油するグリスは、弊社指定のもの（アルバニアNo.2,3,S3）を使用し、以下の表の補給量を充填してください。指定以外のグリスの給油が原因となる故障等に関しては、保証いたしかねます。

表－3 ベアリンググリス補給量

機種（RDA-AP）	グリス標準補給量(g)	
	プーリ側	反プーリ側
2242UHF、2802UHF	1.6	1.6

Vベルト（RDA-AP****UHF 型）

ベルトの張りが弱いとスリップしたり摩耗したりします。必要に応じて点検し、張りの調整を行なうとともに、摩耗がひどいときはベルトを交換してください。

ベルトはレッドベルト（高抗張力ベルト）を使用してください。ベルトが新しい場合初期伸びが発生しますので、約 1 ヶ月後に再調整が必要です。

気化式加湿器

本ユニットには気化式加湿器が装備されています。月 1 回の点検と 1 シーズン毎を目安に、給水ストレーナ、加湿モジュール、給水配管部の点検・清掃を行なってください。但し、使用条件によって点検・清掃する頻度は変わります。特に加湿モジュールの点検は、加湿器としての性能を維持し、長くご使用いただくために必ず実施してください。

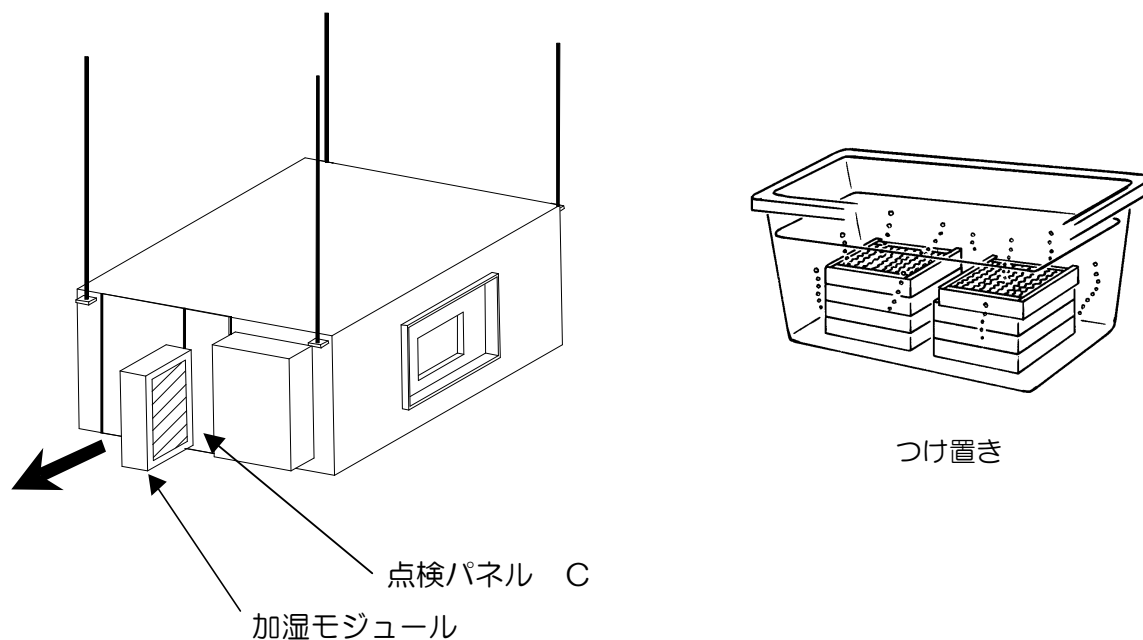
《加湿モジュール洗浄方法》

この洗浄は目に見えている汚れを落とすものではなく、親水性（吸水性）が落ちた加湿モジュールに再度親水性を復活させて、加湿能力を回復させるためのものです。

- ①加湿モジュールをユニット本体より取り出し、加湿モジュールの洗浄を行なってください。
- ②洗浄剤は市販の家庭用「酸素系漂白剤」（花王ワイドハイターなど）をご使用ください。
- ③加湿モジュールが十分に入る大きさの洗浄用容器を用意し、洗浄液を作ります。

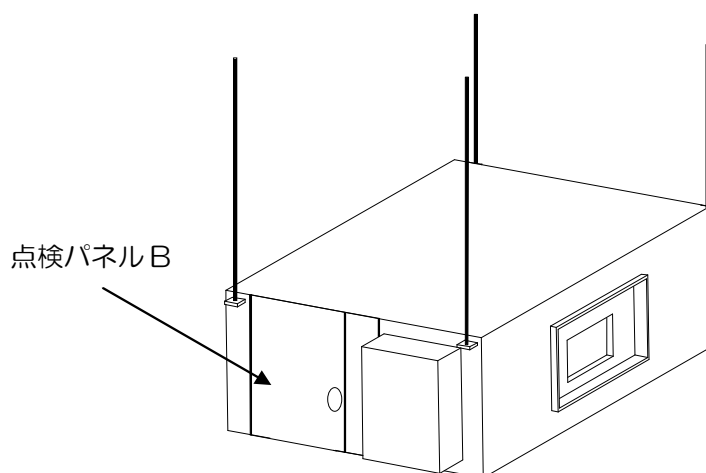
洗浄剤の使用方法、使用上の注意に従ってシミ抜き程度の濃さの水溶液とし、加湿モジュールが十分に浸る量をご用意ください。

- ④加湿モジュールを洗浄液の中に30分程度「つけ置き」し、軽く振り洗いをしてください。加湿モジュールは複数枚ありますので図を参考に「つけ置き」してください。
- ⑤十分に水洗いを行い、静置して水気を落としてください。
- ⑥もと通りに加湿モジュールをユニット本体に取付けてください。



ドレンパン

ドレンパンの上にゴミ等がたまり、ドレン配管を詰まらせるとユニット内部に水があふれることがあります。点検パネルBを取り外し、定期的にドレンパン上のゴミ等を取り除いてください。



保証とアフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。
なお、所在地は裏面をご参照ください。

補修用性能部品の最低保有期間

外気処理エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 9 年間で
この期間は、家庭電気製品の通産省の指示に準じています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

保証期間

外気処理エアコンの保証期間は、お買い上げ後 1 年間で

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってからお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。
修理には、専門の技術が必要です。

保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社にて保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	外気処理エアコン
形名	
製造番号	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	
ご住所	
電話番号	
訪問希望日	
お買上げ店名	
電話番号	

お買上げ店名を記入されておくと便利です。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品の代金です。
出張料	商品のある場所に技術者を派遣する料金です。
材料費	修理に使用した材料の代金です。
運搬費	部品の運搬するための料金です。
その他	上記以外で修理にかかる料金です。(破棄費・撤去費等)

保守点検契約について

製品の機能を、いつも完全に機能させるためには正しくご使用いただくと同時に、定期的な保守点検が必要です。据付工事業者の方または、お買い上げの販売店・弊社支社店とご相談の上、是非保守点検契約する事をお奨め致します。

- 外気処理エアコンをいつまでも最良の状態でお使いいただくために
お手入れの良し悪しで、エアコン本体の寿命や働きに大きな差が生じます。
弊社では、特に弊社外気処理エアコンご愛用者のために、お手数のかからない便利なメンテナンス（保守手入れ）を実費でお引き受けしております。
- 専門の技術員が完全にお手入れいたします。
シーズン中の定期的な巡回サービス、シーズン前後のお手入れを、専門の技術員によって実費でお引き受けしております。
- お申し込み、お問い合わせは……
お買い上げの販売店またはお近くの弊社支社店にご連絡ください。詳しくご説明いたします。

保守サービスのご用命は

据付年月日	年 月 日
お買上げ店名	
据付工事店名	

定期点検/簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン類排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、また専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外ユニット 点検	・機器の異常振動・異常運転
	・機器および機器周辺の油のにじみ
	・機器の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット 点検	・熱交換器の霜付の有無

点検は、安全で安易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたらこれらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/>

お問い合わせは下記へどうぞ。

TOSHIBA
Carrier

東芝キャリア株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34
<http://www.toshiba-carrier.co.jp/>

■東芝キャリア株式会社

本社: 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34

● その他営業所

- 東関東営業所 TEL 043-247-1261

● 北海道支店

〒063-0814 北海道札幌市西区琴似 4 条 2-1-2 コルテナⅡ TEL 011-624-1141
● 旭川営業所 TEL 0166-21-3250

● 東北支社

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-2-1 TEL 022-237-4021
● 福島営業所 TEL 024-933-1622
● 山形営業所 TEL 023-625-5257
● 青森営業所 TEL 017-777-1861
● 北東北営業所 TEL 019-636-4121

● 関信越支社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-318 みづほビル TEL 048-658-1048
● 群馬営業所 TEL 027-363-3181
● 栃木営業所 TEL 028-636-5161
● 新潟営業所 TEL 025-241-8080
● 長野営業所 TEL 026-221-3890
● 松本営業所 TEL 0263-40-0780

● 中部支社

〒451-8502 愛知県名古屋市中区西 2-33-10 東芝名古屋ビル TEL 052-529-1931
● 岐阜営業所 TEL 058-277-0620
● 三重営業所 TEL 059-229-8301
● 静岡営業所 TEL 054-273-4580
● 浜松営業所 TEL 053-451-2550
● トヨタ営業所 TEL 0565-25-1048

● 北陸支店

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-32-7 TEL 076-231-7100
● 富山営業所 TEL 076-441-5531
● 福井営業所 TEL 0776-26-1821

● 関西支社

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-11-7 信濃橋三井ビル 7F TEL 06-7175-9506
● 京滋営業所 TEL 075-691-5688
● 和歌山営業所 TEL 073-422-5910
● 神戸営業所 TEL 078-231-3190
● 姫路営業所 TEL 079-282-2250

● 中四国支社

〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町 7-18 東芝フコク生命ビル 4F
● 岡山営業所 TEL 086-235-1340 TEL 082-577-1070

● 四国支店

〒730-0017 香川県高松市朝日町 2-2-22 TEL 087-821-0141
● 松山営業所 TEL 089-900-1888
● 高知営業所 TEL 088-845-2280
● 徳島営業所 TEL 088-626-2421

● 九州支社

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 2-4-1 東芝福岡ビル TEL 092-735-3471
● 北九州営業所 TEL 093-582-1002
● 長崎営業所 TEL 095-847-7225
● 大分営業所 TEL 097-553-1048
● 熊本営業所 TEL 096-370-4450
● 宮崎営業所 TEL 0985-29-7711
● 鹿児島営業所 TEL 099-257-6222

● 沖縄支店

〒901-2134 沖縄県浦添市港川 262 TEL 098-879-2011

● この取扱説明書は平成 30 年 7 月現在のものです。 ● この取扱説明書に掲載の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。